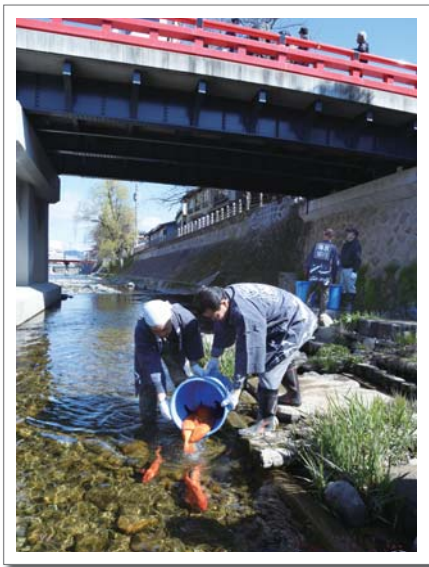


『飛驒高山観光ガイドブック』 贈呈式



4月7日(火)、日本郵便株式会社東海支社より『飛驒高山観光ガイドブック』を贈呈していただきました。
「ひだジェニック」と呼ばれる8人の地元郵便局の女性社員が高山市と飛驒市の観光スポットを紹介する内容で、新型コロナウイルスの収束後に関西地域の郵便局を中心に配布される予定です。

まちを美しくする運動(宮川へ鯉放流)



4月11日(土)、宮川の鯉を守る会、宮川漁業協同組合、高山市民憲章推進協議会の共催により、恒例の宮川への鯉放流が行われました。

水温12～13℃のまだ寒い中、守る会と漁協の15人で20～40号の赤と黒の鯉を約280匹放流しました。

守る会の中澤一弘なかざわかずひろ会長は「川を美しくしたいという思いで長年続けてきました。新型コロナの猛威で暗い話題が多いですが、澄んだ川と水面に映える鯉が地域の皆さんの癒しとなれば」と話されました。

2020.5.15

マスク10,000枚寄附



4月17日(金)、公益社団法人高山青年会議所より、市と社会福祉協議会にマスク10,000枚を寄附していただきました。

第65代理事長中西政太なかにししょうたさんは「新型コロナウイルス感染症の対策に役立てていただくため、メンバーの紹介でいち早く入手できるところに発注しました」と話されました。

市長からはご厚意に対する感謝状を贈呈しました。

食べて応援! 「そしゃテイクアウトやぞ」



「そしゃテイクアウトやぞプロジェクト」を主宰する丸山純平まるやまじゅんぺいさんが、外出自粛などにより売り上げが減少している飛驒地域の飲食店を応援するプロジェクトの発足を報告するため、4月16日(木)来庁されました。

このプロジェクトは、デザイン事務所に勤める丸山さんらが「デザインの力で今地元のできることを」との思いからスタート。金融機関と共同で、ホームページやSNSなどで持ち帰りや宅配ができる店の情報を発信しています。